

スポーツ国際戦略分野 検討のイメージ

【ビジョン・目指すべき姿】

スポーツを通じた
・多様性を尊重する
・持続可能で逆境に強い
・クリーンでフェアな
社会の実現

スポーツ基本計画を通じて、諸施策を実施予定。
しかし国際展開においては下記①、②の枠組みが必要

我が国がホスト国として2020年東京大会等を迎える今後数年間は、国際的なプレゼンスを高める絶好の機会

【ミッション】

①スポーツに係る国際的潮流の国内への還元



②スポーツ国内施策の国際社会への反映

【主なコンセプト】

国内外のネットワーク構築

日本の「顔」が見えるスポーツの国際展開・対外発信

スポーツ団体や地方公共団体等のスポーツの国際化

【課題】

ネットワークによるより効果的・効率的なリソース活用へ

スポーツ関係団体はそれぞれで活動し交通整理する者が不在。それぞれのスポーツ関係団体の司令塔（＝プレーメーカー）同士でネットワークを構築し、それぞれの活動を相互に共有し業務の効率化を図るとともに、国がイニシアティブを取り国際的動向についても展開する。

日本が国際舞台の主役に

これまで参加してこなかったスポーツ関係の国際会議（例：ユネスコスポーツ大臣会合、日中韓スポーツ大臣会合、日ASEANスポーツ大臣会合）に積極的に参加・開催する。また2国間覚書を戦略的に締結するとともに、IFにより多くの役員を派遣する。

NF、地方公共団体等のスポーツをよりグローバルに

NFや地方公共団体等においては、スポーツに係る国際的業務に対応できる体制が十分に整っておらず、スポーツの国際的潮流を国内に反映させるとともに、国内のグッドプラクティスを国際的に紹介していけるようにするため、環境整備が必要。

（1年を目途）

スポーツの国際戦略